

花乃井だより

学校
通信

令和2年7月1日(水)
第13号
大阪市立花乃井中学校

「いじめについて考える日」週間

毎年5月のGW明けの月曜日に設定されている「いじめについて考える日」。今年は新型コロナ禍により臨時休校中でしたので、さまざまに取り組むことができませんでした。学校が再開されて1か月。新しいクラスの中でコミュニケーションはうまくいってますか。集団生活をしていると何かとトラブルは起きてくるものです。そこで今年は「いじめについて考える日」を今週に設定しました。



各学年・各クラスでいろいろ考えてくれたらと思います。

大阪市でも昨年度実施した「いじめを考える中学生フォーラム」で決まった全市スローガン「いじめSTOP 見逃し〇(ゼロ)」を横断幕にして市役所の玄関口ビーに掲げました。



(市役所玄関口ビーに横断幕)

クラスになかなか溶け込むことができずにしんどい毎日を送っている人はいませんか。臨時休校中の自粛生活と違って、友達と接する機会が多くなって、ちょっとした行き違いでけんかになってしまっている人はいませんか。自分で解決できればよいのですが、うまくいかなくて悩んでいる人、全校集会でも言いましたが、皆さんはけっして一人ではありません。勇気を出してください。また、SOSを発してください。先生方が必ず気づいてくれます。

校長の話より

芥川龍之介さんの短編小説に『鼻』があります。大きな鼻をみんなから笑われて苦しんでいた主人公のお話です。



日々苦しんでいた主人公は鼻を短くする方法を教わって実践しました。苦心の末、ついに鼻は小さくなります。しかし、鼻が小さくなった彼を見た人々は、以前にも増して笑うのでした。彼は再び塞ぎ込み、かつての大きかった鼻を恋しがるまでになります。

この小説は、人間には互に矛盾した2つの心があることを教えてくれています。“人の不幸を喜ぶという醜い心”と“自分を犠牲にしても人のためなることをしようとする立派な心”の2つです。醜い心は人間がまだ動物に近かったころからの生存本能（厳しい環境の中で生き延びようとする気持ち）からきているもので、誰の心の中にもあるものです。また、立派な心の方も、愛しき人を守りたいといいういわば本能的なものです。

では、醜い心に打ち勝つため（立派な心を大きくしていく）にはどうすればよいのでしょうか。私の経験から言えることは、まずは人の中にいることです。人と接すること、また、人と共に活動して感動体験を積むことです。まさに学校生活を一生懸命にしていくことではないでしょうか。文化祭や体育大会などの学校行事、部活動、授業でのグループワーク等々、学校生活は皆と協力しなければならないことがたくさんあります。それら一つ一つに積極的に参加していくことです。勇気を出してよろしくお願いしますね。

部活動編成

6/29(月)に部活動編成がありました。各クラブ新入部員を迎えていよいよ本格的な活動が始まりました。「CLUB 新聞」掲載の各部の目標を紹介します。

- ◆ 部長会の目標 → 限られた時間で一致団結し目標を成し遂げるために全力疾走しよう！
- 男子バスケットボール部 → 時間はないけど今までしてきたことを出しきろう！
- 女子バスケットボール部 → 少しずつ体力をつけてしっかり走るようにしよう！
- バドミントン部 → 新年度、心新たに自分にできることからやっていこう。
- 剣道部 → 焦らずゆっくり体力を回復し部活を楽しもう
- 卓球部 → 新入部員を迎え入れる準備をしておこう
- 陸上競技部 → 休み期間前の体力に戻れるよう、努力しよう。
- ソフトボール部 → 練習できなかった分、おくれを取り戻せるようにがんばろう。
- サッカー部 → 休みでなまった体を戻し、1回1回の練習を意識高く取り組む。
- 水泳部 → 2, 3年生は先輩らしくして、1年生は部活を楽しもう！
- 吹奏楽部 → 決められた時間を有効活用し、みんなが笑顔でいられる部活動にしよう。
- 家庭科部 → 三年生は、新一年生と残り少ない部活動期間で仲良くなり、



みんなでいい思い出を作る!!



- 茶道部 → 限られた範囲だけど、充実したお稽古をしよう！
- 理科部 → できるだけ、お金を使わず、身近なものを使うをモットーに
- 社会科部 → 新入生に誇れるような活動を行う。
- 美術部 → 数少ない活動時間を大切にしよう。



家庭学習のススメ

本校独自の取組みの1つである家庭学習

プリントが始まりました。これは家庭学習の習慣を身につけるとともに、復習による基礎学力の定着を図るためにものです。毎日1枚の学習プリントですが、積み重ねると大きな力になります。頑張って取組みましょう。